

令和6年(2024年)10月22日(火)開催

## 地域づくりの支え手元気アップ講座【長野市】

### 「水害を乗り越え長野市豊野・長沼でつくったつながり」

大きな震災が各地で起こる今、自分たちの地域でも何らかの災害が起こる可能性があります。そんな中、災害があった際にどのように対応し復興していったのか、またその際に必要なつながりとはどのようなものだったのか、学んでおくことが大切です。2019年の台風19号による水害時にどのような対応したのかを長野市豊野・長沼地域を実際に見学しながら、自分たちにできることを考えます。

(受講者数21名)



#### 〈研修内容〉

##### ○講義

演題 「あの時、何が起きていたのか  
～ヒト、コト、モノ、情報が集まる縁側～」

講師 長野市社会福祉協議会 小野 貴規 氏

##### ○事例紹介

###### ①「縁側のつながり」

発表者 とよの福向チーム集楽元快 代表 清水 厚子 氏

###### ②「花がつないだ人の集まり」

発表者 長野市生活支援・地域ささえあいセンター  
元生活支援相談員 松枝 芳子 氏

##### ○見学

・長野市豊野防災交流センター ・千曲川決壊現場 ・ぬくぬく亭



#### 受講者アンケートから

- 仕事において普段の生活で行っていることが災害時に生きる、それが防災力を高められることを伝えていきたい。情報からの孤立が支援からの孤立に繋がることを学び、課題解決の方策を考えてみたい。素晴らしい講義をありがとうございました。(県・国職員)
- 5年経っても災害の跡がまだ生々しく残る現地の様子に言葉を失いました。映像からイメージしていたものと違う部分も感じられ、足を運んで良かったと思いました。(公民館職員・公民館関係者)
- ぬくぬく亭は、様々な年代の方の居場所としてこれからもあり続けてほしいと思いました。(県・国職員)